

北九州市民の会ニュース

「公契約条例の制定」を求め、口頭陳述

5月13日(水)、北九州地区労連が3月11日に陳情した「公契約条例の制定による賃金、労働条件の確保と地域経済の振興について」の委員会審議(建築建設委員会)が行われた。「平和・労働・人権北九州共闘センター」の同趣旨の陳情「北九州市公契約条例の制定を求める決意について」も同時審査されました。北九州共闘の竹内議長と北九州地区労連新屋敷副議長(福建労北九州支部書記長)が口頭陳述を行いました。

「公契約条例こそが、働くルールそのものだ」と労働実態を踏まえて訴えましたが、「今後、社会情勢、他政令市の動向を見守っていく。その為に他都市の動向調査をしていく。」との答弁にとどまりました。最終的に、継続審議となりました。(写真は小倉タイムスより)



声上げれば政治は動く

野党国対委員長がネット討論

検察庁法改定案をめぐる、日本共産党など4野党の国対委員長は14日、インターネット上の「緊急記者会見」に出演し、司会の津田大介氏(ジャーナリスト)や視聴者の質問に答え、世論と結んで法案を断固阻止する決意を述べました。主催は、報道番組やドキュメンタリー、映画制作に携わる有志でつくる「チューズ・ライフ・プロジェクト」。

日本共産党の穀田恵二国対委員長は、ツイッターで同法案への抗議・反対の声が1000万に達したこと、“与党が週内の衆院通過を断念する方針”という報道が出たことに触れ、

「国民の声が政治を動かしている。その声に応え、国会の行政監視の役割を果たして審議を尽くし、役職定年延長の規定を一括法案から切り離すところまで追い込みたい」と決意を述べました。

立憲民主党の安住淳国対委員長は、「定年延長の基準が明確になったら採決に応じるのか」との



視聴者の不安の声に、「検察への政治介入は寸分たりともあってはならない。基準を示したから採決して良いということではない」と答えました。

国民民主党の原口一博国対委員長、社民党の吉川元国対委員長もツイッターで広がった運動に触れ、「本当に感謝している」(原口氏)、「2週間前とは雰囲気が変わった。一人ひとりが声を上げたからだ」(吉川氏)と強調しました。

コロナ特別定額給付金

「生活保護受給者の手続き簡素化」を市へ要請

5月19日北九州市社保協では、コロナウィルスの経済対策支援の一つである「特別定額給付金(国民一人当たり一律10万円)」の申請手続きについて、生活保護受給者の手続き簡素化を北九州市に申し入れしました。生活保護受給者は高齢者や障害者も多く、オンライン手続きはもとより書類申請でも支障を来すことが予想され、申請が遅れたり申請がうまく出来ずに支給されないなどの不都合が生じる可能性を指摘。同じ政令指定都市である熊本市が実施している「事前に口座情報などが確認できる生活保護受給者には、担当ケースワーカーが本人に連絡を取り、受給意思確認がとれたら申請書なしで振り込みを行なう手続きの簡素化」を紹介。もれなく着実にかつ迅速に手元に届けられ、問い合わせや確認に迫られる行政窓口業務の一助にも繋がるのでは是非、検討をと訴えました。



対応した保護課課長と係長は「熊本市のようにはいかないが、各ケースワーカーは担当している受給者の状況を把握しているので、申請確認と場合によっては申請手続きの援助をするように通達したい」と回答しました。

平和とくらしを守る北九州市民の会
〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F
TEL093-592-5000 FAX093-571-4346
<http://siminnokai.sakura.ne.jp>
e-mail:koe@siminnokai.com

平和ネットが19日定例行動

5月19日(火)、18:00~19:00 小倉駅デッキで、「平和をあきらめない北九州ネット」が、コロナ禍の下、19日定例行動で、市民に改憲阻止をアピールしました。宣伝行動には、30人を超える参加でリレートーク。「コロナ退散、安倍も退散」「コロナに便乗した改憲を阻止しよう」と訴えました。



高齢者福祉乗車券」の実施を求める！

「市民の会」が署名推進活動を提起

☆5月30日(土)、各区民の会代表と市民の会事務局を中心に、第2次署名集約・交流集会を開催。そこで、市民の会事務局より署名推進活動案が提起され、討論を経て、以下のような具体的活動に取り組むことが決定されました。

●署名の現在数は、12,077筆。目標79,200筆(有権者の10%)を目指し、署名活動を継続し、9月議会にむけて、署名用紙を全戸配布し、署名数を大幅に増やし集約する。

●署名用紙、カンパお願い文と振込用紙、返信用封筒、チラシ等を一括して(一袋にして)、全世帯(全戸)の半数をめざし、各戸ポストに投函する。全戸配布は、各区民の会の責任で工夫して取り組む。

●返信のあて先は、市民の会とし、区名を明示した返信用封筒を市民の会事務局が作成する。郵送代金は一括払い方式(又は後払い方式)で市民の会が負担する。

●署名用紙の全戸配布と集約は以下の要領にします。

- 1、各区民の会は、必要部数を6月10日(水)までに、市民の会に告知する
- 2、市民の会は、6月20日(土)までに、必要部数を各区民の会に届ける
- 3、各区民の会は、なるべく7月中に、各世帯に配り切る。
- 4、市民の会に返信されてきた封筒は、速やかに各区民の会に

届ける

以上の署名推進活動は、コロナ禍の下で大変ですが、市民みんなの「高



齢者福祉乗車券」への強い要求を実現するために、頑張って取り組んでいくことを誓い合いました。

☆この交流集会では、北九州のコロナ感染拡大に市民の会としてどう対応するかについても意見交流をしました。「北九州市の対応がどうなっているか、市民は、ひとり残らず不安な気持ちを抱いている」「PCR検査をもっと増やすべきだ」「濃厚接触者の定義があいまいだ」など、多くの問題点が出されました。市民の会としては、問題点をまとめ、市政に要望書を提出できればよいのですが、施設利用もできない現状では、相談会も持てません。しばらく継続的に検討、注視していくことになりました。市民の会の皆さんには、コロナ感染拡大に関するご意見がありましたら、ご一報をお寄せください。

平和のための戦争展in北九州」は中止に

第26回目になる今年の戦争展は、コロナ禍の下、中止することになりました。3月18日(水)第1回戦争展実行委員会ですべての企画を決定し準備を進めておりました。8月29日(土)30日(日)黒崎コムシティ、9月6日(日)戦跡ツアーでしたが、いまだ会場の見聞もできない状況から、すべての企画を中止することにしました。6月3日(水)に実行委員会を開催して、中止を提案し決定する予定でしたが、北九州の感染拡大で、実行委員会も開催できず、事務局から、すべての実行委員に連絡、中止の確認・了承を得ました。なお、来年は、同じ黒崎コムシティで8月28日(土)・29日(日)を第1候補に開催する予定です。(文責：三輪俊和実行委員長)



写真は、昨年の戦争展